

SSH 通信では、SSH に関する情報を随時お知らせします。

▶サイエンスフェスティバル

12月22日(日)に、「ふくしまサイエンスフェスティバル 2024」が、福島市アクティブシニアセンター・アオウゼ(AOZ)で開催されました。日東紡福島事業センター協賛のもと、福島高校とアオウゼが主催し、本校からは、SS部1年生の7つの実験屋台に加えて、書道部、美術部、管弦楽部が参加しました。また、福島市内の高校3校や千葉県の高校1校、3つの企業、福島大学や東北大学といった県内外の大学からの参加もあり、来場者数は2000名を大きく超える大盛況となりました。サイエンスを通じた交流の中で、たくさんの子どもたちの笑顔があふれていました。



▶東北サイエンスコミュニティ研究校発表会

1月24日(金)~25日(土)に、東北大学において、東北地区6県のSSH指定校が集まり課題研究の成果を発表する、東北サイエンスコミュニティ研究校発表会が開催されました。本校からは2つの研究班が参加し、「月の観察によるケプラーの第二法則の証明」と「酵母が与えるメタン発酵への影響」についてポスター発表を行いました。発表や質疑応答の中で新たな気づきを得ることができる、有意義な時間となりました。



▶オンラインリサーチカフェ最終発表会

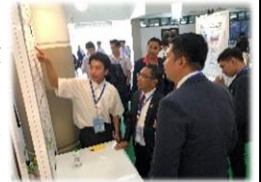
1月27日(月)の放課後の時間に、香川県立観音寺第一高等学校、さいたま市立大宮北高等学校、奈良県立青翔高等学校・青翔中学校、本校のSSH指定校4校合同で、探究活動の深化を目的に、5月~9月にかけて計3回行ってきた合同オンラインゼミであるオンラインリサーチカフェの成果として、オンラインによる最終発表会を実施しました。長期間にわたって探究のプロセスを共有しながら研究活動を行う中で、研究者としてお互いに大きく成長することができました。

▶今後のSSHの主な行事

2/5(水)…2年SS探究 全員課題研究学年発表会
2/21(金)…生徒研究発表会

▶ Thailand Japan Student ICT Fair 2024

12/17(火)~24(火)に、「Thailand-Japan Student ICT Fair 2024」に参加するため、教員2名と生徒2名がタイ王国に行きました。「拡散過程モデルを用いた麻雀の手牌読みモデルの制作」および「メダカの飼育観察のための水槽環境制御システム」についての発表やディスカッション、文化体験などを行い、多様な価値観に触れる中で多くを学ぶことができました。また、姉妹校の Princess Chulabhorn Science High School Nakhon Si Thammarat 校の生徒とも交流を行い、国境を超えた絆を深めることができました。



▶Fukushima Presentation Fair 2025

1月26日(日)本校にて、福島県内外の5校(福島高校・安積高校・会津学鳳高校・ふたば未来学園高校・宮城県仙台第三高校)が集まり、英語による課題研究発表会を実施しました。本校からSS部2年生が参加し、口頭発表、質疑応答はすべて英語で行われ、主催校として運営においても活躍しました。モデルとして、東北大学大学院生1名、福島大学留学生3名、本校ALT1名も発表を行いました。助言者として、本校ALTに加え、福島大学の留学生がさらに6名、福島大学の研究者4名も参加し、生徒たちは英語でサイエンスを通じたやりとりを行う中で、自分たちの研究の深化だけでなく、これまで行ってきた英語学習の成果を発揮することもできました。



▶1年SS探究 ディベート

1月29日(水)6、7校時目に、1年SS探究のディベート学年代代表決定戦が行われました。どのクラスも、ガイダンスや2回のトライアル対戦の経験を活かして、「論理」で議論を戦わせていました。なお、1年5組と6組の決勝戦は、2月21日(金)に行われる生徒研究発表会内で行われます。